



JSBI 2021 Report (速報版)

Japan Sustainable Brands Index

2022.02.24 / Ver-1.0

サステナブル・ブランド ジャパン

調査目的

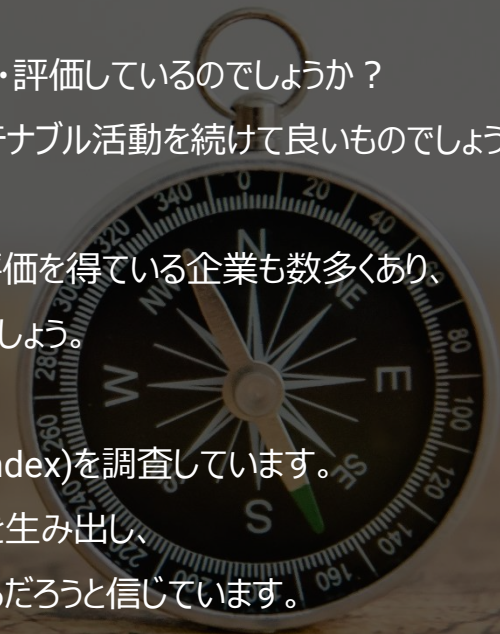
JSBI : Japan Sustainable Brands Index

SDGsの認知度が急速に高まる中、企業のサステナブル活動は、社会的責任や社会貢献の範囲を越え、いまや事業活動の柱として、マーケティングやイノベーションに組みこまれてきています。

そうした環境変化の中、企業のサステナブル活動を生活者・消費者はどのように認知・評価しているのでしょうか？
それらを知らぬままに、手応えが感じられない社会貢献や費用対効果を示せないサステナブル活動を続けて良いものでしょうか？

一方、企業の事業活動と社会的責任や貢献のバランスを見事に取りながら、高い評価を得ている企業も数多くあり、今後、ますますその活動を加速させ、生活者・消費者の認知や評価を上げていくことでしょう。

サステナブル・ブランド ジャパンでは、昨年よりJSBI (Japan Sustainable Brands Index)を調査しています。
私たちはこの経年調査を続けることで、企業努力が社会や環境にもポジティブな成果を生み出し、資本主義とコモンズ（共有資源）やコミュニティとの新たな関係を生み出すことができるだろうと信じています。



ジャパン・サステナブルブランド・インデックス の仕組み

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

調査項目

インデックスの仕組み

インデックス指標

SDGs認知度

SDGsを知らない人を除く

Q:あなたは、SDGs（サステナブル・ディベロップメント・ゴール：持続可能な開発目標）をご存じですか。

企業別 SDGs貢献度（100点満点）

Q:次の企業について、「SDGs貢献度」をつけるとしたら、あなたは何点をつけますか。100点満点でお答えください。

サステナブル・アクション 重要度（30項目）

ウェイト付

変換

SDGs重要度（17目標）

Q：あなたは次に挙げることがらを企業が取り組むことは重要だと思いますか

企業別 サステナブル・アクション 評価（30項目）

変換

SDGs企業評価（17目標）

Q：次に挙げるそれぞれの企業は、これらに対して取り組んでいると思いますか。企業ごとにお答えください。

SDGs貢献 イメージ得点

SDGs貢献度を基準化し算出

SDGs評価得点

SDGs重要度 × SDGs企業評価を基準化し算出

JSBI Japan Sustainable Brands Index

・全業種ランキング
・業種別ランキング

SDGs貢献イメージ得点+
SDGs評価得点

企業別 カスタマー・ エンゲージメント（25項目）

変換

企業別 カスタマー・ エンゲージメント（7項目）

ジャパン・サステナブル ブランド・インデックス 考察

調査方法

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

■ 調査方法 : インターネット調査

回答者は、グループ分けされた6つの企業（対象企業社数計300社）について、それぞれ30問の設問に回答しました。

■ 調査対象者 : 18歳-79歳の男女

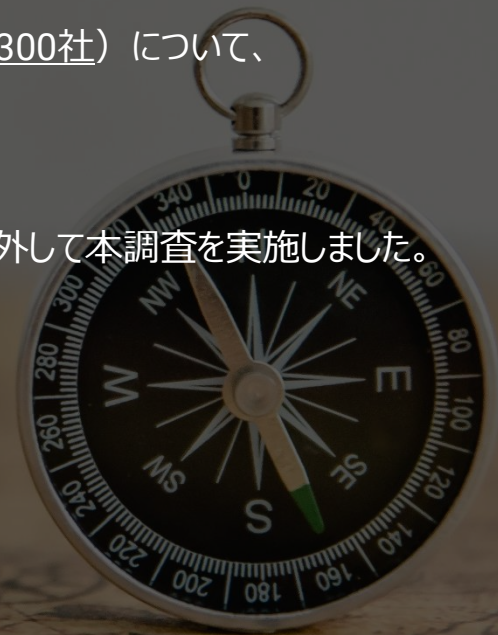
スクリーニング調査で「対象企業を知らない」と回答した人を除外して本調査を実施しました。

■ 調査地域 : 全国47都道府県

■ 使用パネル : 予め登録されたクローズドモニターによって構成されたパネル

■ 調査期間 : 2021年11月9日～12月11日

■ 回収数 : 15,000サンプル（1社あたりの回答者数は300サンプル）



JSBIと他のIndexとの違い

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

SDGsやサステナビリティ活動に対して、関心の高い消費者の視点を重視し、彼らのSDGsや各企業のサステナビリティ活動への認識が、実際の行動（購買や推奨など）にどのような影響を及ぼすのかを分析している点が、JSBIの特徴です。

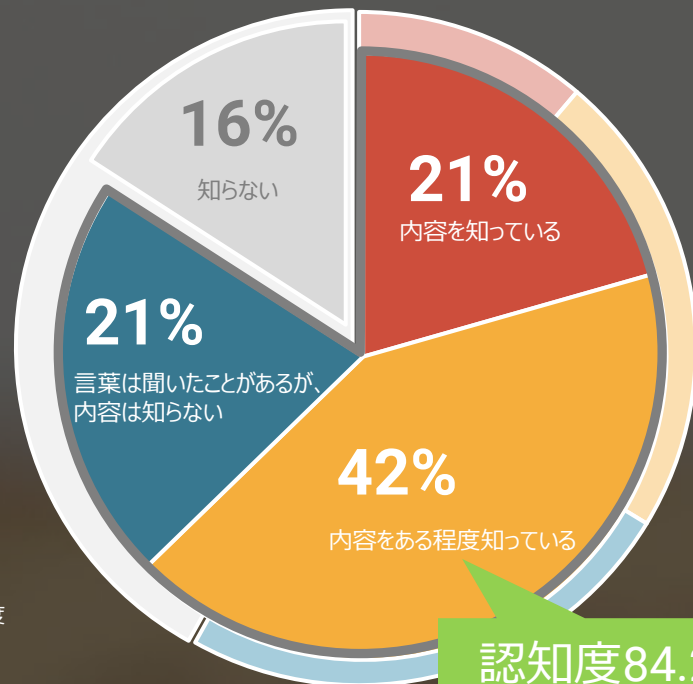
CSR調査

人材活用・雇用問題への取り組み、環境問題への基本的取り組み、社会的課題の解決に向けた取り組みなどについて、活動主体である企業に対する調査をもとに評価をしています。

ブランド調査

消費者やビジネスパーソンからのブランドイメージや魅力度などの総合的な評価をベースとしています。

あなたは、SDGs（サステナブル・ディベロップメント・ゴール：持続可能な開発目標）をご存じですか。

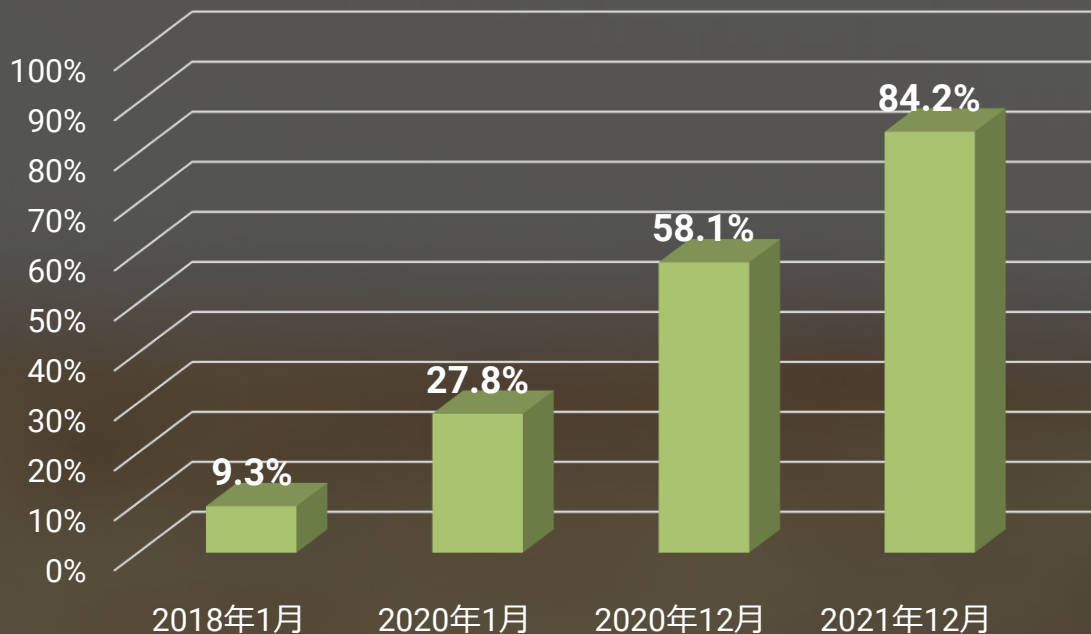


※グラフ外側は、2020年のSDGs認知度の割合

SDGs認知度の経年変化

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

SDGsの認知度の経年変化



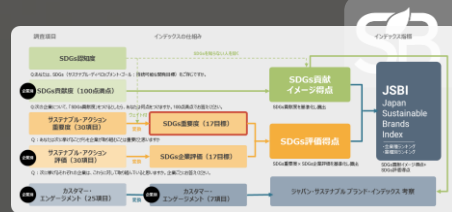
調査開始の2018年から年々、SDGsの認知度は上昇しており、今回は84.2%の認知を得ました。

企業活動のサステナビリティ活動はもちろん、事業活動においてももはやSDGsに関わることが必然という流れになってきたのではないのでしょうか？

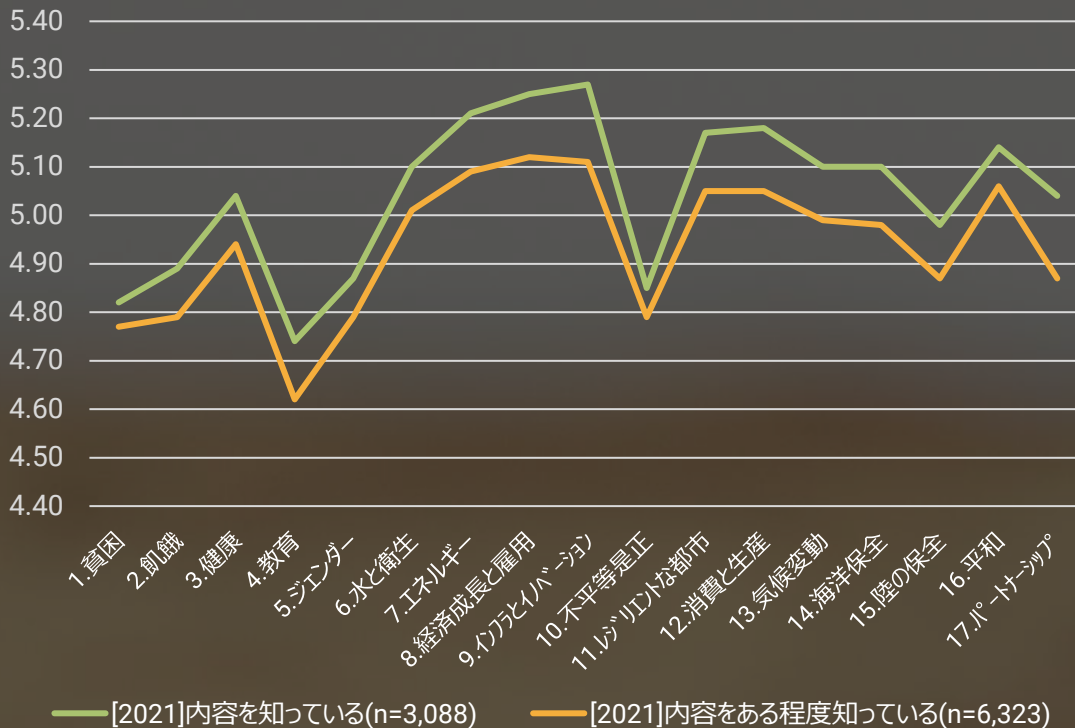
製品やサービスの機能やデザイン、価格や流通はもちろん重要ですが、社会問題や環境問題とはどうつながっているのか？そもそも自社のパーパスは何なのか？サステナブル競争において、早急にエッジを立てていく必要があります。

調査結果 I : SDGs重要度 (認知度による違い)

JSBI : Japan Sustainable Brands Index



SDGsの認知度別 17目標重要度 (2021)



SDGsの認知や理解の広がりや、企業への重視度に
どんな変化を与えているのでしょうか？

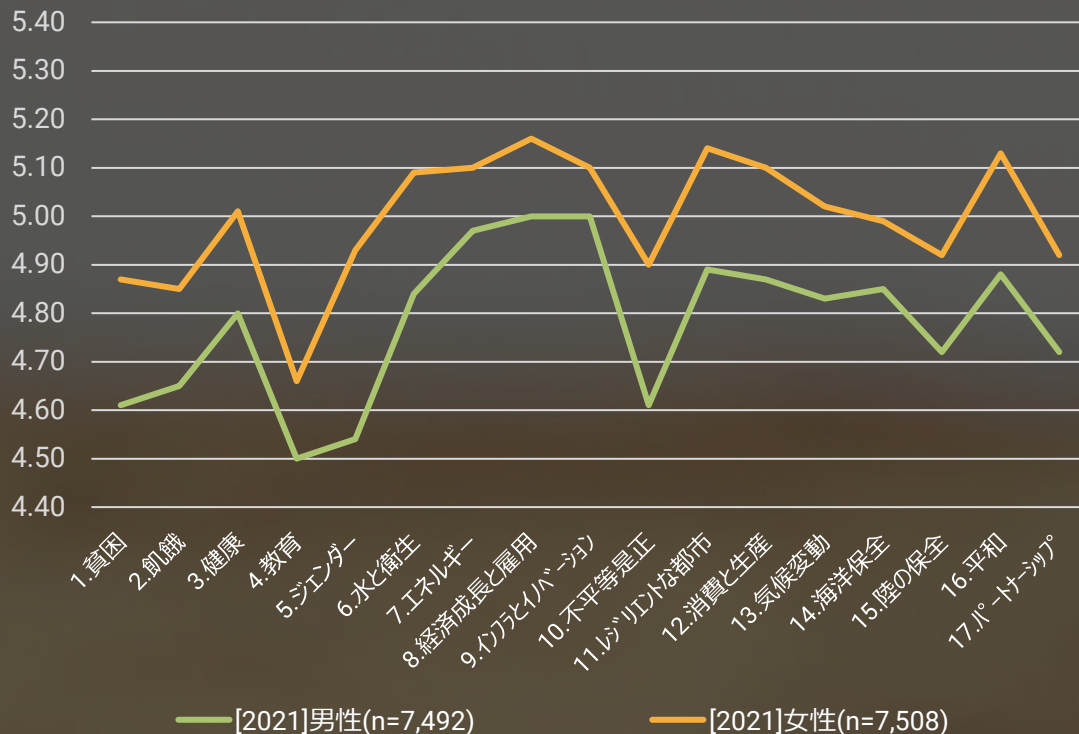
「内容を知っている」という深い理解者は、
**9.インフラとイノベーション、8.経済成長と雇用、7.エ
ネルギー、12.消費と生産、11.レジリエントな都市**とい
う経済軸を重視し、「内容をある程度知っている」方よ
りも、重視度の差も大きくなっています。

また、**16.平和**や**3.健康**も重視されています。皆さんの
企業がのエッジを立てるべき軸はどこでしょうか？

調査結果 I : SDGs重要度 (性別による違い)

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

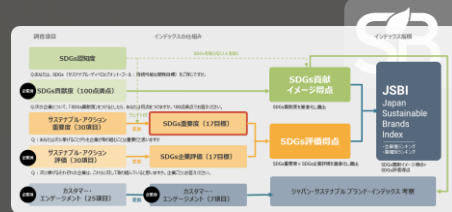
SDGsの性別 17目標重要度 (2021)



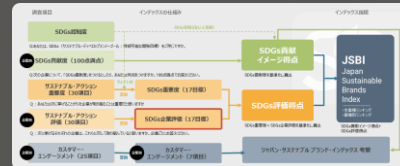
男女の差で見ると、全体として女性が、SDGsを高く重視しています。

特に、男女の差が大きいのが、**5.ジェンダー、10.不平等是正、1.貧困**といった“人”の格差問題であり、**6.水と衛生、16.平和**も女性性は重視しています。

男女差が小さいのは、**9.インフラとイノベーション、7.エネルギー、14.海洋保全**であり、インフラや環境には男女の関心の差はあまり無いようです。



調査結果Ⅱ：業種別SDGs企業評価（17目標）



	貧困	飢餓	健康	教育	ジェンダー	水と衛生	エネルギー	経済成長と雇用	イノバとイノベーション	不平等是正	レジリエントな都市	消費と生産	気候変動	海洋保全	陸の保全	平和	パートナーシップ
エネルギー	5.01	12.43	18.72	7.88	12.22	13.64	22.53	19.19	22.13	4.78	12.31	14.48	10.77	6.40	12.86	8.18	9.07
金融・保険	5.59	7.81	21.68	10.59	18.27	10.17	3.95	23.36	10.71	5.49	6.76	8.33	5.02	3.80	9.04	10.02	10.98
ファッション・アクセサリ	5.76	10.89	22.06	8.93	21.04	11.48	4.93	18.36	11.48	4.96	4.20	14.27	6.42	4.26	10.91	9.06	12.04
飲料・嗜好品	6.03	23.23	23.78	6.38	13.61	18.31	4.93	19.01	11.63	3.97	3.88	16.64	5.89	4.73	12.78	8.87	9.43
化粧品・トイレットリー	4.61	10.13	26.99	7.45	21.11	21.38	4.86	17.07	14.18	4.39	4.38	16.42	5.06	4.31	13.07	8.72	8.06
家電・A V機器	5.07	10.58	24.47	11.16	16.80	18.08	10.30	23.58	25.08	5.31	7.61	17.28	8.03	4.96	12.14	9.78	12.89
外食・各種サービス	8.03	26.63	22.25	6.58	17.36	20.03	6.08	19.04	8.38	4.72	4.36	17.37	4.38	4.97	10.56	8.36	8.25
運輸・交通・レジャー	4.50	9.16	21.71	8.89	17.96	15.86	6.52	22.50	17.74	5.59	8.64	13.24	6.60	4.53	9.23	10.50	11.82
自動車・関連品	4.51	9.36	18.02	8.79	13.67	10.27	11.07	25.39	24.87	5.01	7.62	17.71	8.69	3.92	11.02	8.80	16.84
出版・教育、広告、印刷	4.59	8.30	15.81	23.19	22.01	8.41	3.77	19.14	12.00	4.91	3.81	10.00	4.24	3.13	9.47	10.07	10.51
IT・情報・通信	5.93	9.20	19.01	14.78	17.99	11.43	6.46	24.54	23.36	6.18	8.62	12.08	6.54	3.91	9.78	10.29	17.08
食品	7.17	35.24	30.50	6.62	15.72	16.80	5.34	20.45	15.26	4.40	3.71	19.97	6.30	7.64	11.58	9.21	8.26
精密機器・事務用品	3.77	8.26	19.02	11.87	14.92	11.25	6.61	19.98	21.25	4.49	5.99	14.03	5.50	3.94	10.14	9.57	11.32
素材・化学・機械	4.97	14.64	19.57	8.39	12.66	16.98	8.43	20.10	22.92	4.35	9.44	14.37	8.28	5.68	14.82	8.16	10.65
不動産・建設・住宅設備	4.65	10.04	21.07	7.54	13.35	19.56	6.59	20.32	22.47	4.05	21.85	13.41	8.34	4.81	15.06	8.76	9.19
薬品・医療用品	4.91	10.70	39.26	7.55	15.57	23.17	4.24	18.53	22.31	4.64	4.30	14.26	4.86	4.11	11.40	9.25	9.94
流通・小売業	7.37	18.43	22.00	9.04	18.56	15.85	6.80	22.76	12.28	5.01	6.96	18.93	6.05	4.99	12.01	9.24	11.22
専門サービス	5.85	12.60	15.83	12.27	18.98	11.83	5.45	17.55	10.67	6.53	6.05	7.52	5.17	4.17	11.82	7.78	9.40
放送・エンターテインメント	5.19	7.45	17.50	14.23	19.80	9.89	4.25	20.34	12.83	6.57	5.05	9.17	4.83	2.86	7.83	11.93	12.74
全業種 平均	5.45	13.67	22.31	9.55	16.70	15.14	6.88	20.92	17.22	4.95	7.44	14.56	6.48	4.68	11.40	9.33	11.15

SDGs評価得点を業種ごとに分類してみると、多くの業種が**3.健康**、**8.経済成長と雇用**で高い評価得点を得ています。

反対に、**10.不平等是正**や**14.海洋保全**で高い評価を得ている企業は、少ないのです。

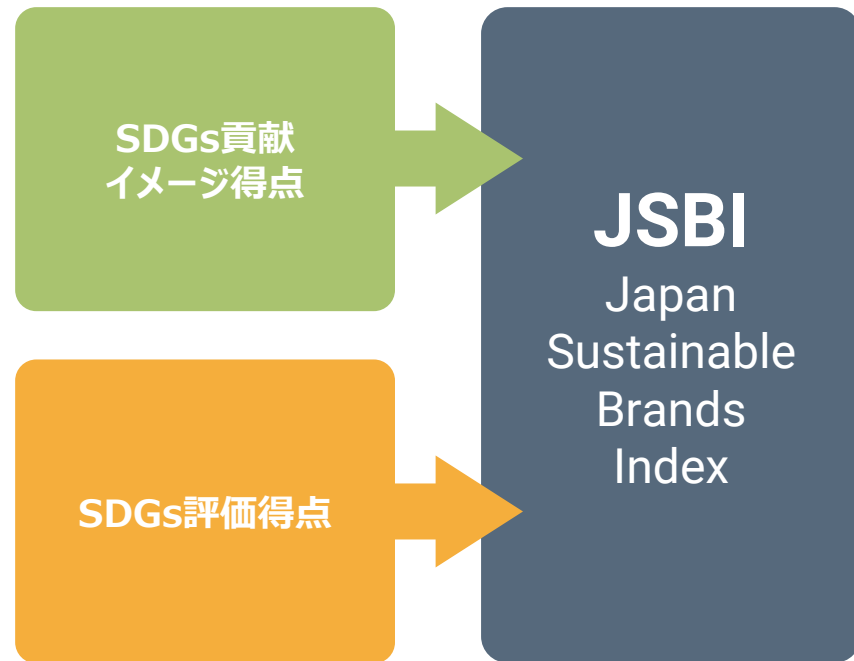
前述のSDGs重視度と合わせて分析してみると、生活者は、**7.エネルギー**や**11.レジリエントな都市**、そして**16.平和**に関心を寄せているのに、これに込んでいる業種はわずかしか無いということがわかります。

調査結果Ⅲ：SDGsを軸としたJSBIの分析

JSBI：Japan Sustainable Brands Index

SDGsに貢献しているイメージがあるかを100点満点で評価する「**SDGs貢献イメージ得点**」と、SDGsの17目標について、企業が取り組むことが重要かを測る「重要度」および実際に各企業がこれらの目標に取り組んでいると思うかを測る「**SDGs企業評価**」から成る「**SDGs評価得点**」を基準化し、評価を試みました。

「**SDGs貢献イメージ得点**」における順位と「**SDGs評価得点**」における順位の違いから、マーケティングやコミュニケーション活動への示唆が得られました。



JSBI 2021 TOP100企業

SDGs貢献イメージ得点+SDGs評価得点

順位	企業名	2021 JSBI	順位	企業名	2021 JSBI	順位	企業名	2021 JSBI	順位	企業名	2021 JSBI
1	トヨタ自動車(TOYOTA)	111.41	16	サントリー(SUNTORY)	105.64	31	ダスキン(DUSKIN) *衛生サービス	104.31	46	カゴメ(KAGOME)	103.53
2	良品計画(無印良品)	110.93	17	楽天グループ	105.46	32	生協(Co-op)	104.28	47	オリエンタルランド(東京ディズニーリゾート)	103.31
3	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	109.02	18	ジョンソン・エンド・ジョンソン	105.45	33	キッコーマン	104.27	48	三菱重工業	103.23
4	住友林業	107.19	19	ハウス食品(House)	105.26	34	パタゴニア(patagonia)	104.18	49	西日本旅客鉄道(JR西日本)	103.16
5	セブン&アイ・ホールディングス *イトーヨーカ堂他	107.16	20	積水化学工業(SEKISUI)	105.18	35	大塚製薬(Otsuka)	104.17	50	旭化成(AsahiKASEI)	103.10
6	クボタ(Kubota)	107.00	21	日本製紙クレシア *クリネックス・スコッティ他	104.86	36	テルモ	104.06	51	伊藤忠商事	102.92
7	ENEOS	106.80	22	アイリスオーヤマ	104.74	37	イケア(IKEA)	103.97	52	ヤクルト本社(Yakult)	102.86
8	P & G(プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	106.65	23	東京ガス(TOKYO GAS)	104.74	38	スズキ(SUZUKI)	103.92	53	東レ(TORAY)	102.86
9	ウォルト・ディズニー・ジャパン	106.31	24	ユニ・チャーム(unicharm)	104.65	39	パナソニック(Panasonic)	103.78	54	Looop(Looopでんき)	102.83
10	イオン(AEON)	106.27	25	リクシル(LIXIL)	104.63	40	マルハニチロ	103.76	55	ファンケル(FANCL)	102.81
11	王子ネピア *ネピア他	106.09	26	森永乳業(morinaga)	104.59	41	味の素(AJINOMOTO)	103.76	56	星野リゾート	102.77
12	グーグル(google)	106.00	27	モンベル(mont-bell)	104.56	42	キューピー	103.69	57	アストラゼナカ	102.77
13	味の素A G F *ブレンディ他	105.95	28	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	104.55	43	N T Tデータ	103.67	58	ロート製薬(ROHTO)	102.73
14	アップルジャパン(Apple)	105.84	29	日立製作所(HITACHI)	104.46	44	ダイキン工業(DAIKIN)	103.67	59	山崎製パン	102.71
15	ファーストリテイリング *ユニクロ・GU他	105.69	30	岩谷産業(Iwatani)	104.32	45	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	103.66	60	ライオン(LION)	102.64

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

JSBI 2021 TOP100企業

SDGs貢献イメージ得点+SDGs評価得点

順位	企業名	2021 JSBI	順位	企業名	2021 JSBI	順位	企業名	2021 JSBI
61	大阪ガス	102.63	76	日本マイクロソフト(Microsoft)	102.32	91	オムロン(OMRON)	101.90
62	中外製薬	102.59	77	江崎グリコ	102.31	92	エステー	101.90
63	商船三井	102.59	78	日本水産(ニッスイ)	102.27	93	竹中工務店	101.80
64	サラヤ	102.59	79	アマゾン ウェブ サービス ジャパン(AWS) *クラウド・サービス	102.23	94	日清紡ホールディングス(NISSHINBO)	101.80
65	テスラ(Tesla)	102.53	80	ネスレ(Nestle)	102.21	95	N E C(日本電気)	101.76
66	TOTO	102.51	81	日本製紙	102.21	96	エーザイ(Eisai)	101.76
67	日本コカ・コーラ	102.50	82	小松製作所(KOMATSU)	102.17	97	U R 都市機構 *UR賃貸住宅	101.75
68	東日本高速道路(NEXCO東日本)	102.49	83	旭化成ホームズ(ヘーベルハウス)	102.14	98	ワコール(Wacoal)	101.73
69	ラッシュジャパン(LUSH)	102.48	84	日清食品(NISSIN)	102.11	99	ゴールドウイン *ザ・ノース・フェイス他	101.72
70	ヤンマー(YANMAR)	102.48	85	武田薬品工業	102.10	100	小林製薬	101.71
71	スノーピーク(snow peak)	102.46	86	伊藤ハム	102.05			
72	住友化学	102.41	87	東洋水産 *マルちゃん他	101.96			
73	全日本空輸(ANA)	102.40	88	日産自動車(NISSAN)	101.93			
74	ヤマハ発動機 *輸送用機器	102.37	89	富士フイルム(FUJIFILM)	101.91			
75	セブン-イレブン・ジャパン(7-Eleven)	102.34	90	大林組	101.91			

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

JSBI 2020 vs JSBI 2021

TOP50企業

SDGs貢献イメージ得点+SDGs評価得点

JSBI2020調査対象企業(180社)の経年比較

順位	前年差 (順位差)	企業名	2021 JSBI	2020 JSBI
1	➡ 0	トヨタ自動車(TOYOTA)	111.41	112.86
2	➡ 0	良品計画(無印良品)	110.93	108.76
3	⬆ 22	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	109.02	104.45
4	⬆ 1	住友林業	107.19	108.09
5	⬆ 13	セブン&アイ・ホールディングス *イトーヨーカ堂他	107.16	105.22
6	⬆ 9	クボタ(Kubota)	107.00	105.38
7	⬆ 56	P & G (プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	106.65	101.99
8	⬆ 5	イオン(AEON)	106.27	105.59
9	⬆ 23	グーグル(google)	106.00	103.84
10	⬆ 26	アップルジャパン(Apple)	105.84	103.64
11	⬇ ▲ 4	ファーストリテイリング *ユニクロ・GU他	105.69	106.62
12	➡ 0	サントリー(SUNTORY)	105.64	105.59
13	⬆ 25	ジョンソン・エンド・ジョンソン	105.45	103.54
14	⬇ ▲ 6	ハウス食品(House)	105.26	106.16
15	⬆ 13	積水化学工業(SEKISUI)	105.18	104.09
16	➡ 0	東京ガス(TOKYO GAS)	104.74	105.36
17	⬆ 20	ユニ・チャーム(unicharm)	104.65	103.56

順位	前年差 (順位差)	企業名	2021 JSBI	2020 JSBI
18	⬆ 22	リクシル(LIXIL)	104.63	103.52
19	➡ 0	森永乳業(morinaga)	104.59	104.95
20	⬆ 34	モンベル(mont-bell)	104.56	102.79
21	⬇ ▲ 4	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	104.55	105.23
22	⬇ ▲ 18	日立製作所(HITACHI)	104.46	108.60
23	⬆ 11	ダスキン(DUSKIN) *衛生サービス	104.31	103.76
24	⬆ 5	生協(Co-op)	104.28	104.08
25	⬆ 28	パタゴニア(patagonia)	104.18	102.82
26	⬆ 13	大塚製薬(Otsuka)	104.17	103.53
27	⬆ 35	イケア(IKEA)	103.97	102.02
28	⬇ ▲ 17	パナソニック(Panasonic)	103.78	105.76
29	⬇ ▲ 26	味の素(AJINOMOTO)	103.76	108.74
30	⬇ ▲ 16	キユーピー	103.69	105.41
31	⬇ ▲ 8	ダイキン工業(DAIKIN)	103.67	104.70
32	⬇ ▲ 8	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	103.66	104.65
33	⬇ ▲ 3	カゴメ(KAGOME)	103.53	104.05
34	⬆ 44	オリエンタルランド(東京ディズニーリゾート)	103.31	101.05

順位	前年差 (順位差)	企業名	2021 JSBI	2020 JSBI
35	⬆ 6	西日本旅客鉄道(JR西日本)	103.16	103.51
36	⬇ ▲ 14	旭化成(AsahiKASEI)	103.10	104.74
37	⬇ ▲ 16	ヤクルト本社(Yakult)	102.86	104.82
38	⬆ 23	東レ(TORAY)	102.86	102.33
39	⬆ 8	ファンケル(FANCL)	102.81	103.04
40	⬇ ▲ 7	ロート製薬(ROHTO)	102.73	103.83
41	⬇ ▲ 35	ライオン(LION)	102.64	106.89
42	⬆ 41	大阪ガス	102.63	100.67
43	⬆ 13	テスラ(Tesla)	102.53	102.58
44	⬇ ▲ 34	TOTO	102.51	105.92
45	⬆ 23	日本コカ・コーラ	102.50	101.47
46	⬇ ▲ 19	東日本高速道路(NEXCO東日本)	102.49	104.25
47	⬆ 5	ラッシュジャパン(LUSH)	102.48	102.85
48	⬆ 11	スノーピーク(snow peak)	102.46	102.35
49	⬇ ▲ 1	全日本空輸(ANA)	102.40	102.96
50	⬆ 25	セブン-イレブン・ジャパン(7-Eleven)	102.34	101.19

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

SDGs貢献イメージ得点 2021 TOP100

SDGs貢献度を基準化し算出

順位	企業名	2021 イメージ得点	順位	企業名	2021 イメージ得点	順位	企業名	2021 イメージ得点	順位	企業名	2021 イメージ得点
1	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	56.37	16	ジョンソン・エンド・ジョンソン	52.95	31	森永乳業(morinaga)	52.35	46	日立製作所(HITACHI)	51.84
2	トヨタ自動車(TOYOTA)	56.15	17	王子ネピア *ネピア他	52.90	32	ライオン(LION)	52.33	47	パナソニック(Panasonic)	51.81
3	良品計画(無印良品)	56.04	18	味の素(AJINOMOTO)	52.89	33	サラヤ	52.30	48	東レ(TORAY)	51.81
4	味の素 A G F *ブレندي他	53.63	19	グーグル(google)	52.85	34	キューピー	52.28	49	オムロン(OMRON)	51.80
5	アイリスオーヤマ	53.62	20	クボタ(Kubota)	52.83	35	ダスキン(DUSKIN) *衛生サービス	52.24	50	西日本旅客鉄道(JR西日本)	51.77
6	セブン&アイ・ホールディングス *イトーヨーカ堂他	53.45	21	積水化学工業(SEKISUI)	52.81	36	スズキ(SUZUKI)	52.21	51	江崎グリコ	51.74
7	イケア(IKEA)	53.40	22	岩谷産業(Iwatani)	52.79	37	大塚製薬(Otsuka)	52.11	52	マルハニチロ	51.72
8	ENEOS	53.32	23	楽天グループ	52.74	38	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	52.07	53	ファンケル(FANCL)	51.71
9	ウォルト・ディズニー・ジャパン	53.29	24	ユニ・チャーム(unicharm)	52.70	39	リクシル(LIXIL)	52.04	54	ワークマン(WORKMAN)	51.64
10	P & G(プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	53.21	25	パタゴニア(patagonia)	52.67	40	ダイキン工業(DAIKIN)	52.04	55	オリエンタルランド(東京ディズニーリゾート)	51.64
11	モンベル(mont-bell)	53.19	26	イオン(AEON)	52.65	41	スノーピーク(snow peak)	52.01	56	エステー	51.62
12	ファーストリテイリング *ユニクロ・GU他	53.17	27	ネスレ(Nestle)	52.55	42	ゴールドウイン *ザ・ノース・フェイス他	52.00	57	星野リゾート	51.61
13	住友林業	53.13	28	ハウス食品(House)	52.51	43	カゴメ(KAGOME)	51.99	58	日本製紙	51.57
14	アップルジャパン(Apple)	53.10	29	キッコーマン	52.49	44	生協(Co-op)	51.96	59	コクヨ(KOKUYO)	51.56
15	サントリー(SUNTORY)	52.98	30	日本製紙クレシア *クリネックス・スコッティ他	52.38	45	ナイキ(NIKE)	51.92	60	山崎製パン	51.56

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

SDGs貢献イメージ得点 2021 TOP100

SDGs貢献度を基準化し算出

順位	企業名	2021 イメージ得点	順位	企業名	2021 イメージ得点	順位	企業名	2021 イメージ得点
61	日本コカ・コーラ	51.55	76	日清食品(NISSIN)	51.34	91	富士フイルム(FUJIFILM)	51.02
62	N T T データ	51.51	77	日清紡ホールディングス(NISSHINBO)	51.33	92	日本ハム	50.97
63	セブン-イレブン・ジャパン(7-Eleven)	51.51	78	全日本空輸(ANA)	51.26	93	マツダ(MAZDA)	50.97
64	日産自動車(NISSAN)	51.48	79	麒麟ビール(KIRIN)	51.25	94	東京ガス(TOKYO GAS)	50.94
65	Loop(Loopでんき)	51.47	80	中外製薬	51.24	95	伊藤忠商事	50.93
66	テルモ	51.46	81	ホンダ(HONDA)	51.22	96	サンスター	50.92
67	ワコール(Wacoal)	51.45	82	小松製作所(KOMATSU)	51.20	97	東洋水産 *マルちゃん他	50.90
68	伊藤ハム	51.44	83	エーザイ(Eisai)	51.19	98	N E C (日本電気)	50.90
69	ロート製薬(ROHTO)	51.44	84	スバル(SUBARU)	51.18	99	ヤンマー(YANMAR)	50.89
70	商船三井	51.44	85	ソニー(SONY)	51.14	100	アディダスジャパン(adidas)	50.89
71	ラッシュジャパン(LUSH)	51.43	86	ブックオフコーポレーション	51.06			
72	旭化成(AsahiKASEI)	51.42	87	花王(Kao)	51.05			
73	TOTO	51.41	88	三菱ケミカルホールディングス	51.04			
74	武田薬品工業	51.37	89	テスラ(Tesla)	51.03			
75	象印マホービン	51.36	90	フジパンググループ本社	51.03			

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

SDGs貢献イメージ得点 2021 VS 2020 TOP50

SDGs貢献度を基準化し算出

JSBI2020調査対象企業(180社)の経年比較

順位	前年差 (順位差)	企業名	2021 イメージ得点	2020 イメージ得点	順位	前年差 (順位差)	企業名	2021 イメージ得点	2020 イメージ得点	順位	前年差 (順位差)	企業名	2021 イメージ得点	2020 イメージ得点
1	▲ 21	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	56.37	52.51	18	▲ 54	バタゴニア(patagonia)	52.67	50.99	35	▲ 16	パナソニック(Panasonic)	51.81	52.71
2	▲ 1	トヨタ自動車(TOYOTA)	56.15	56.78	19	▲ 18	イオン(AEON)	52.65	52.01	36	▲ 13	東レ(TORAY)	51.81	51.68
3	0	良品計画(無印良品)	56.04	55.63	20	▲ 7	ネスレ(Nestle)	52.55	52.98	37	▲ 6	オムロン(OMRON)	51.80	52.19
4	▲ 10	セブン&アイ・ホールディングス *イトーヨーカ堂他	53.45	52.89	21	▲ 5	ハウス食品(House)	52.51	52.86	38	▲ 9	西日本旅客鉄道(JR西日本)	51.77	52.23
5	▲ 36	イケア(IKEA)	53.40	51.85	22	▲ 10	森永乳業(morinaga)	52.35	53.12	39	▲ 37	ファンケル(FANCL)	51.71	50.70
6	▲ 77	P & G (プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	53.21	50.37	23	▲ 18	ライオン(LION)	52.33	54.49	40	▲ 54	オリエンタルランド(東京ディズニーリゾート)	51.64	49.93
7	▲ 45	モンベル(mont-bell)	53.19	51.64	24	▲ 16	キユーピー	52.28	53.53	41	▲ 20	日本製紙	51.57	52.53
8	▲ 4	ファーストリテイリング *ユニクロ・GU他	53.17	54.98	25	▲ 11	ダスキン(DUSKIN) *衛生サービス	52.24	52.01	42	▲ 21	コクヨ(KOKUYO)	51.56	51.18
9	▲ 2	住友林業	53.13	53.25	26	▲ 22	大塚製薬(Otsuka)	52.11	51.72	43	▲ 21	日本コカ・コーラ	51.55	51.17
10	▲ 20	アップルジャパン(Apple)	53.10	52.19	27	▲ 9	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	52.07	52.76	44	▲ 26	セブン-イレブン・ジャパン(7-Eleven)	51.51	51.01
11	▲ 1	サントリー(SUNTORY)	52.98	53.32	28	▲ 1	リクシル(LIXIL)	52.04	52.30	45	▲ 30	日産自動車(NISSAN)	51.48	50.79
12	▲ 41	ジョンソン・エンド・ジョンソン	52.95	51.62	29	▲ 14	ダイキン工業(DAIKIN)	52.04	52.87	46	▲ 35	ワコール(Wacoal)	51.45	50.49
13	▲ 11	味の素(AJINOMOTO)	52.89	55.66	30	▲ 31	スノーピーク(snow peak)	52.01	51.21	47	▲ 10	ロート製薬(ROHTO)	51.44	51.45
14	▲ 41	グーグル(google)	52.85	51.60	31	▲ 7	カゴメ(KAGOME)	51.99	52.44	48	▲ 8	ラッシュジャパン(LUSH)	51.43	51.91
15	▲ 5	クボタ(Kubota)	52.83	52.66	32	▲ 7	生協(Co-op)	51.96	52.35	49	▲ 1	旭化成(AsahiKASEI)	51.42	51.65
16	▲ 1	積水化学工業(SEKISUI)	52.81	52.79	33	▲ 49	ナイキ(NIKE)	51.92	50.39	50	▲ 43	TOTO	51.41	53.60
17	▲ 54	ユニ・チャーム(unicharm)	52.70	51.00	34	▲ 25	日立製作所(HITACHI)	51.84	53.33					

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

SDGs評価得点 2021 TOP100

SDGs重要度×SDGs企業評価を基準化し算出

順位	企業名	2021 評価得点	順位	企業名	2021 評価得点	順位	企業名	2021 評価得点	順位	企業名	2021 評価得点
1	トヨタ自動車(TOYOTA)	55.26	16	アップルジャパン(Apple)	52.74	31	三菱重工業	52.39	46	ユニ・チャーム(unicharm)	51.95
2	良品計画(無印良品)	54.89	17	楽天グループ	52.72	32	積水化学工業(SEKISUI)	52.37	47	清水建設	51.95
3	クボタ(Kubota)	54.17	18	アストラゼネカ	52.69	33	ヤクルト本社(Yakult)	52.32	48	住友化学	51.82
4	住友林業	54.06	19	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	52.65	34	生協(Co-op)	52.32	49	旭化成ホームズ(ヘーベルハウス)	51.80
5	東京ガス(TOKYO GAS)	53.79	20	サントリー(SUNTORY)	52.65	35	味の素 A G F *ブレندی他	52.32	50	キッコーマン	51.78
6	セブン&アイ・ホールディングス *イトーヨーカ堂他	53.70	21	日立製作所(HITACHI)	52.62	36	森永乳業(morinaga)	52.25	51	ヤマハ発動機 *輸送用機器	51.72
7	イオン(AEON)	53.62	22	テルモ	52.60	37	大成建設	52.25	52	スズキ(SUZUKI)	51.71
8	ENEOS	53.48	23	リクシル(LIXIL)	52.59	38	N T Tデータ	52.16	53	アマゾンジャパン(amazon)	51.70
9	P & G (プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	53.44	24	大阪ガス	52.55	39	ダスキン(DUSKIN) *衛生サービス	52.07	54	旭化成(AsahiKASEI)	51.68
10	王子ネピア *ネピア他	53.19	25	ファーストリテイリング *ユニクロ・GU他	52.52	40	大塚製薬(Otsuka)	52.07	55	オリエンタルランド(東京ディズニーリゾート)	51.68
11	グーグル(google)	53.15	26	ジョンソン・エンド・ジョンソン	52.51	41	マルハニチロ	52.04	56	小林製薬	51.63
12	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	53.10	27	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	52.49	42	U R都市機構 *UR賃貸住宅	52.04	57	ダイキン工業(DAIKIN)	51.63
13	ウォルト・ディズニー・ジャパン	53.03	28	日本製紙クレシア *クリネックス・スコティ他	52.48	43	伊藤忠商事	51.99	58	ヤンマー(YANMAR)	51.59
14	東京電力(TEPCO)	52.84	29	大林組	52.47	44	パナソニック(Panasonic)	51.97	59	日本水産(ニッスイ)	51.56
15	ハウス食品(House)	52.75	30	東日本高速道路(NEXCO東日本)	52.42	45	大和ハウス工業(Daiwa House)	51.95	60	カゴメ(KAGOME)	51.53

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

SDGs評価得点 2021 TOP100

SDGs重要度×SDGs企業評価を基準化し算出

順位	企業名	2021 評価得点	順位	企業名	2021 評価得点	順位	企業名	2021 評価得点
61	岩谷産業(Iwatani)	51.53	76	日本マクドナルド	51.27	91	コスモ石油	51.04
62	日本マイクロソフト(Microsoft)	51.52	77	竹中工務店	51.24	92	小松製作所(KOMATSU)	50.96
63	パタゴニア(patagonia)	51.51	78	村田製作所(muRata)	51.18	93	日本コカ・コーラ	50.96
64	テスラ(Tesla)	51.49	79	星野リゾート	51.16	94	富士フイルム(FUJIFILM)	50.89
65	出光昭和シェル	51.48	80	商船三井	51.15	95	味の素(AJINOMOTO)	50.87
66	関西電力	51.45	81	山崎製パン	51.14	96	N E C (日本電気)	50.86
67	アマゾン ウェブ サービス ジャパン(AWS) *クラウド・サービス	51.43	82	全日本空輸(ANA)	51.14	97	伊藤園(ITOEN)	50.83
68	三井物産	51.42	83	カネカ(kaneka)	51.13	98	セブン-イレブン・ジャパン(7-Eleven)	50.83
69	キューピー	51.41	84	アイリスオーヤマ	51.12	99	日清食品(NISSIN)	50.77
70	鹿島	51.41	85	ファンケル(FANCL)	51.10	100	帝人(TEIJIN)	50.76
71	西日本旅客鉄道(JR西日本)	51.40	86	ノボルディスクファーマ	51.10			
72	モンベル(mont-bell)	51.37	87	TOTO	51.10			
73	Loop(Loopでんき)	51.35	88	東洋水産 *マルちゃん他	51.06			
74	中外製薬	51.35	89	東レ(TORAY)	51.05			
75	ロート製薬(ROHTO)	51.29	90	ラッシュジャパン(LUSH)	51.05			

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

SDGs評価得点 2021 VS 2020 TOP50 SDGs重要度×SDGs企業評価を基準化し算出

JSBI2020調査対象企業(180社)の経年比較

順位	前年差 (順位差)	企業名	2021 JSBI	2020 JSBI	順位	前年差 (順位差)	企業名	2021 JSBI	2020 JSBI	順位	前年差 (順位差)	企業名	2021 JSBI	2020 JSBI
1	→ 0	トヨタ自動車(TOYOTA)	55.26	56.09	18	↑ 48	大阪ガス	52.55	50.89	35	↑ 23	オリエンタルランド(東京ディズニーリゾート)	51.68	51.12
2	↑ 9	良品計画(無印良品)	54.89	53.13	19	↑ 24	ファーストリテイリング *ユニクロ・GU他	52.52	51.64	36	↑ 2	ダイキン工業(DAIKIN)	51.63	51.83
3	↑ 14	クボタ(Kubota)	54.17	52.72	20	↑ 14	ジョンソン・エンド・ジョンソン	52.51	51.92	37	↑ 9	カゴメ(KAGOME)	51.53	51.61
4	↓ ▲ 1	住友林業	54.06	54.84	21	↓ ▲ 2	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	52.49	52.46	38	↓ ▲ 7	日本マイクロソフト(Microsoft)	51.52	52.11
5	↑ 1	東京ガス(TOKYO GAS)	53.79	53.61	22	↓ ▲ 7	東日本高速道路(NEXCO東日本)	52.42	52.91	39	↓ ▲ 2	パタゴニア(patagonia)	51.51	51.83
6	↑ 18	セブン&アイ・ホールディングス *イトーヨーカ堂他	53.70	52.33	23	↑ 27	積水化学工業(SEKISUI)	52.37	51.30	40	↑ 37	テスラ(Tesla)	51.49	50.42
7	→ 0	イオン(AEON)	53.62	53.58	24	↓ ▲ 15	ヤクルト本社(Yakult)	52.32	53.34	41	↑ 34	出光昭和シェル	51.48	50.54
8	↑ 37	P & G(プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	53.44	51.62	25	↑ 17	生協(Co-op)	52.32	51.72	42	↓ ▲ 20	関西電力	51.45	52.38
9	↑ 19	グーグル(google)	53.15	52.24	26	↑ 10	森永乳業(morinaga)	52.25	51.83	43	↓ ▲ 8	キュービー	51.41	51.88
10	↓ ▲ 2	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	53.10	53.47	27	↑ 13	ダスキン(DUSKIN) *衛生サービス	52.07	51.75	44	↑ 8	西日本旅客鉄道(JR西日本)	51.40	51.28
11	↓ ▲ 6	東京電力(TEPCO)	52.84	53.73	28	↑ 11	大塚製薬(Otsuka)	52.07	51.81	45	↑ 11	モンベル(mont-bell)	51.37	51.14
12	↓ ▲ 2	ハウス食品(House)	52.75	53.30	29	↓ ▲ 15	パナソニック(Panasonic)	51.97	53.05	46	↓ ▲ 25	ロート製薬(ROHTO)	51.29	52.38
13	↑ 34	アップルジャパン(Apple)	52.74	51.45	30	↓ ▲ 26	大和ハウス工業(Daiwa House)	51.95	53.98	47	↑ 36	日本マクドナルド	51.27	50.16
14	↑ 19	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	52.65	51.94	31	↓ ▲ 13	ユニ・チャーム(unicharm)	51.95	52.55	48	↑ 14	竹中工務店	51.24	51.04
15	↑ 11	サントリー(SUNTORY)	52.65	52.27	32	↓ ▲ 5	清水建設	51.95	52.25	49	↑ 5	全日本空輸(ANA)	51.14	51.24
16	↓ ▲ 14	日立製作所(HITACHI)	52.62	55.27	33	↑ 15	アマゾンジャパン(amazon)	51.70	51.40	50	↑ 1	カネカ(kaneka)	51.13	51.29
17	↑ 38	リクシル(LIXIL)	52.59	51.22	34	↓ ▲ 22	旭化成(AsahiKASEI)	51.68	53.09					

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

調査結果Ⅳ：「SDGs貢献イメージ得点」と「SDGs評価得点」

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

SDGs貢献イメージ得点

「SDGs貢献イメージ得点」においては、調査対象が「SDGsに貢献していそうだ」というイメージを持っている企業が高い得点を得ています。

SDGs評価得点

「SDGs評価得点」では、調査対象はSDGsの17の目標と企業が実際に行っているサステナビリティ活動とを照らし合わせて評価がなされており、具体的な活動内容が認識されている企業が高い得点を得ています。

「SDGs貢献イメージ得点」と「SDGs評価得点」の評価を比較することで、

サステナブル活動に関する消費者とのコミュニケーションの課題が見えてきます。

「SDGs貢献イメージ得点」と「SDGs評価得点」の比較

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

「SDGs評価得点」 > 「SDGs貢献イメージ得点」

SDGs17目標の個別評価が高く、具体的なサステナビリティ活動を消費者に認知してもらえています。

一方で、残念ながら総合的なイメージが弱い傾向があります。



サステナブル・マーケティングやサステナブル・コミュニケーションが重要になります。

「SDGs貢献イメージ得点」 > 「SDGs評価得点」

消費者からSDGsの総合的なイメージは強く認められています。

一方で、残念ながら具体的な活動内容が知られていない可能性があります。



SDGsの具体的実践を伝えていく工夫が重要になります。

「SDGs評価得点」>「SDGs貢献イメージ得点」上位50社

サステナブル・マーケティングやサステナブル・コミュニケーションが重要な企業

順位	企業名	得点
1	東京電力(TEPCO)	6.68
2	日本放送協会(NHK)	4.74
3	ワタミグループ *和民・ワタミの宅食他	4.15
4	大和ハウス工業(Daiwa House)	3.70
5	大成建設	3.61
6	関西電力	3.12
7	清水建設	3.05
8	大林組	3.03
9	東京ガス(TOKYO GAS)	2.85
10	アストラゼネカ	2.60

順位	企業名	得点
11	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	2.53
12	大阪ガス	2.46
13	電通	2.46
14	東日本高速道路(NEXCO東日本)	2.35
15	出光昭和シェル	2.35
16	UR都市機構 *UR賃貸住宅	2.32
17	パソナ	2.27
18	三井住友信託銀行	2.19
19	ソフトバンク(SoftBank)	2.15
20	鹿島	2.10

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

「SDGs評価得点」>「SDGs貢献イメージ得点」上位50社

サステナブル・マーケティングやサステナブル・コミュニケーションが重要な企業

順位	企業名	得点
21	アマゾンジャパン(amazon)	1.97
22	ヤクルト本社(Yakult)	1.78
23	フィリップモリス(Philip Morris)	1.77
24	かんぽ生命保険	1.77
25	東京地下鉄(東京メトロ)	1.76
26	リクルートホールディングス	1.75
27	メルセデス・ベンツ	1.73
28	ゼンショーホールディングス *すき家・なか卯他	1.68
29	吉本興業	1.67
30	パーソル *テンプスタッフ 他	1.63
31	博報堂	1.60
32	みずほ銀行(MIZUHO)	1.58
33	三菱UFJ銀行(MUFG)	1.58
34	小林製薬	1.56
35	三菱重工業	1.55

順位	企業名	得点
36	住友生命保険	1.49
37	旭化成ホームズ(ヘーベルハウス)	1.46
38	ノボルディスクファーマ	1.40
39	クボタ(Kubota)	1.33
40	ユー・エス・ジェイ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)	1.33
41	ベネッセホールディングス(Benesse)	1.32
42	ニチレイ	1.29
43	日本たばこ産業(JT)	1.27
44	ステラマッカートニー	1.26
45	三菱電機(MITSUBISHI ELECTRIC)	1.24
46	住友化学	1.24
47	テレビ朝日	1.22
48	三井物産	1.18
49	N T T ドコモ(docomo)	1.17
50	テルモ	1.14

「SDGs貢献イメージ得点」>「SDGs評価得点」上位50社

SDGsの具体的実践を伝えていく工夫が重要な企業

順位	企業名	得点
1	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	3.71
2	YKK *ファスナー他	3.28
3	ブックオフコーポレーション	3.10
4	ネスレ(Nestle)	2.89
5	イケア(IKEA)	2.83
6	ナイキ(NIKE)	2.73
7	アイリスオーヤマ	2.50
8	コクヨ(KOKUYO)	2.38
9	メルカリ(mercari)	2.37
10	シチズン時計(CITIZEN)	2.30

順位	企業名	得点
11	ゴールドウイン *ザ・ノース・フェイス他	2.29
12	ドトールコーヒー	2.11
13	ライオン(LION)	2.03
14	味の素(AJINOMOTO)	2.01
15	サラヤ	2.01
16	ブラザー工業 *ミシン・プリンター他	2.00
17	ニコン(Nikon)	1.99
18	キヤノン(canon)	1.97
19	ジェーシービー(JCB Card)	1.95
20	象印マホービン	1.91

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

「SDGs貢献イメージ得点」>「SDGs評価得点」上位50社

SDGsの具体的実践を伝えていく工夫が重要な企業

順位	企業名	得点
21	コニカミノルタ	1.85
22	モンベル(mont-bell)	1.82
23	丸井グループ	1.81
24	オリンパス	1.80
25	リコー(RICOH)	1.76
26	ワークマン(WORKMAN)	1.70
27	オムロン(OMRON)	1.69
28	貝印	1.69
29	タイガー魔法瓶	1.69
30	スノーピーク(snow peak)	1.57
31	ガンゼ(GUNZE)	1.55
32	VISA(VISA Card)	1.54
33	アディダスジャパン(adidas)	1.53
34	日本通運	1.53
35	キーコーヒー	1.53

順位	企業名	得点
36	マツダ(MAZDA)	1.51
37	プリンスホテル	1.46
38	フジパングループ本社	1.42
39	凸版印刷	1.40
40	ヤマハ(YAMAHA) *楽器	1.38
41	麒麟ビール(KIRIN)	1.34
42	エステー	1.34
43	味の素 A G F *ブレンディ他	1.32
44	明治(meiji)	1.30
45	ニトリ	1.28
46	アスクル(ASKUL)	1.28
47	岩谷産業(Iwatani)	1.26
48	スバル(SUBARU)	1.24
49	コメダ(珈琲所コメダ珈琲店)	1.20
50	ワコール(Wacoal)	1.17

調査結果 V : 業種別順位とその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

分析対象の300社を19の業種に分類し、各業種の特徴の分析

順位	前年比 順位	業種	企業数	JSBI 平均得点
1	↑ 1	薬品・医療用品	7	102.58
2	↑ 4	エネルギー	12	101.93
3	↑ 2	化粧品・トイレタリー	21	101.90
4	→ 0	食品	16	101.81
5	↓ 4	素材・化学・機械	12	101.67
6	↓ 3	家電・A V機器	12	101.41
7	↑ 4	流通・小売業	21	101.29
8	↓ 1	不動産・建設・住宅設備	25	100.69
9	↑ 3	ファッション・アクセサリ	16	100.48
10	↓ 1	飲料・嗜好品	20	100.27

※個別企業のJSBIの分布 88.33 ~ 111.41

順位	前年比 順位	業種	企業数	JSBI 平均得点
11	↓ 1	自動車・関連品	17	100.06
12	↑ 3	IT・情報・通信	18	99.68
13	↓ 5	精密機器・事務用品	18	99.48
14	↑ 2	外食・各種サービス	21	99.48
15	↓ 2	運輸・交通・レジャー	19	98.30
16	NEW	専門サービス	6	97.99
17	NEW	放送・エンターテインメント	12	97.21
18	↓ 4	出版+教育、広告、印刷	16	96.83
19	↓ 2	金融・保険	11	95.55
計			300	100.00

調査結果 V : 業種別順位とその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

JSBIに顕著な傾向の見られた業種

評価の高い業種

薬品・医療用品

この業種の12社のうち1社を除き得点が100点以上となりました。
また順位も10社が100位以内に入りました。業種内ギャップも7.34
に抑えられ、この業種の企業の評価は総じて高いといえます。

エネルギー

対象11社のうち8社の得点が100を超え、最高位は7位でした。
最低位は187位でしたが、業種内ギャップは7.80であり、この業種は
概ね評価が高いという結果が得られました。

評価の低い業種

出版+教育、広告、印刷

前回の調査と同様に、この業種の21社全てが得点は100未満で、
順位も最高位163位、最低位300位と総じて評価が低いという結
果が得られました。

金融・保険

この業種の7社全てが得点が100未満で、順位は最高位で177位、
最低位295位と総じて評価が低いという結果が得られました。

評価の低い業種の企業が必ずしもSDGsの取り組みをしていないということを意味するものではありません。SDGs17項目との親和性に、業種による差異があります。また、業種によって、消費者からその活動が見えにくい、評価しにくい可能性があることが推測されます。

調査結果 V : 業種別順位とその傾向 ×「SDGs貢献イメージ得点」vs.「SDGs評価得点」

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

「SDGs貢献イメージ得点」より 「SDGs評価得点」が高い業種

出版＋教育、広告、印刷

この業種に分類された7社のうち、「SDGs貢献イメージ得点」より「SDGs評価得点」が高い企業は6社（85.7%）ありました。

次点は

不動産・建設・住宅設備 19社のうち15社（78.9%）

放送・エンターテインメント 12社の9社（75.0%）

の2業種となります。

「SDGs評価得点」より 「SDGs貢献イメージ得点」が高い業種

精密機器・事務用品

この業種の18社の企業全てが、「SDGs評価得点」より「SDGs貢献イメージ得点」が高い（100%）という結果となりました。

次点は

ファッション・アクセサリー 17社のうち14社（76.5%）

飲料・嗜好品 16社のうち12社（75.0%）の2業種となります。

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

1. 薬品・医療用品（12社）

12社のうち1社を除き、JSBI得点が100点を超え、業種のJSBI平均値は102.58点と、19業種の中でトップでした。上位11社は全体順位で半数以上となる150位以内に入っています。

業種内ギャップの値は7.34と低く、業種内にバラツキがないことを示しています。

また、評価得点と貢献イメージ得点のバランスが取れた業種でもあります。

総じて高い評価を得ているといえます。

	企業名	JSBI 得点	全体 順位
1	ジョンソン・エンド・ジョンソン	105.45	18
2	ユニ・チャーム(unicharm)	104.65	24
3	大塚製薬(Otsuka)	104.17	35
4	テルモ	104.06	36
5	アストラゼネカ	102.77	57
	平均値	102.58	
	最高値	105.45	18
	最低値	98.11	209
	業種内ギャップ（最高値-最低値）	7.34	

SDGs貢献イメージ得点

51.19

SDGs評価得点

51.39

≒

※ <> : 得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≒ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

2. エネルギー（11社）

11社のうち8社がJSBI得点で100点を超え、業種としての
平均値も101.93点と19業種の中でも2番目に好調でした。

業種内ギャップの値も7.80と比較的低く、業種内のバラツキも
低い傾向が見受けられます。

SDGs評価得点の業種平均値は、51.73点で全業種のトッ
プでした。しかし、SDGs貢献イメージ得点は50.20点と全業種
中11位でした。サステナブル・マーケティング／コミュニケーション
が重要になるでしょう。

	企業名	JSBI 得点	全体 順位
1	ENEOS	106.80	7
2	東京ガス(TOKYO GAS)	104.74	23
3	岩谷産業(Iwatani)	104.32	30
4	Looop(Looopでんき)	102.83	54
5	大阪ガス	102.63	61
	平均値	101.93	
	最高値	106.80	7
	最低値	99.00	187
	業種内ギャップ（最高値-最低値）	7.80	

SDGs貢献イメージ得点

50.20

《

SDGs評価得点

51.73

※ 《 》 : 得点差1.5pt.以上 < > : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≧ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

3. 化粧品・トイレタリー (16社)

16社中12社のJSBI得点が100点を超え、業種のJSBI得点平均値は101.90と全体で3番目の高さです。

また、SDGs評価得点の平均値は50.69と全業種内5位であるのに対し、SDGs貢献イメージ得点平均値は51.21と全業種内トップとなりました。

化粧品業界に比べてトイレタリー業界の企業のJSBI評価が相対的に高いという傾向が見られました。

この業種内のトップ4社は、業種全体の傾向とは異なり、SDGs評価得点の方がSDGs貢献イメージ得点よりも高いという傾向が見られました。

	企業名	JSBI 得点	全体 順位
1	P & G (プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	106.65	8
2	王子ネピア *ネピア他	106.09	11
3	日本製紙クレシア *クリネックス・スコッティ他	104.86	21
4	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	104.55	28
5	ファンケル(FANCL)	102.81	55
	平均値	101.90	
	最高値	106.65	8
	最低値	96.79	247
	業種内ギャップ (最高値-最低値)	9.86	

SDGs貢献イメージ得点

51.21

>

SDGs評価得点

50.69

※ <> : 得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≧ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

4. 食品（20社）

20社のうち、16社がJSBI得点で100点以上を獲得し、業種としてのJSBI得点平均値も101.81点と全体として6番目の水準です。対象となる企業が20社ある中で、業種内ギャップの値は8.05と低めであり、業種内でのバラツキが大きいことを示しています。

SDGs評価得点の業種平均値は50.68点、SDGs貢献イメージ得点の業種平均値は51.13点でした。20社のうち14社においてSDGs評価得点よりSDGs貢献イメージ得点が高くなりました。これらの企業ではSDGsの具体的実践を伝えていく工夫が今後の課題になるでしょう。

	企業名	JSBI 得点	全体 順位
1	ハウス食品(House)	105.26	19
2	キッコーマン	104.27	33
3	マルハニチロ	103.76	40
4	味の素(AJINOMOTO)	103.76	41
5	キューピー	103.69	42
	平均値	101.81	
	最高値	105.26	19
	最低値	97.20	238
	業種内ギャップ（最高値-最低値）	8.05	

SDGs貢献イメージ得点

51.13

≡

SDGs評価得点

50.68

※ <<> : 得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

5. 素材・化学・機械 (21社)

21社中16社がJSBI得点100点以上を獲得し、業種としてのJSBI得点平均値は、101.67と全業種で5番目の水準となりました。

評価得点と貢献イメージ得点のバランスが取れた業種です。

昨年度と比べると全業種におけるランキングは下がっています。しかしこれは、新型コロナの影響による新しい生活に必要な技術に注目が集まった昨年度に比べ、今年度の調査では、より消費者に近く、タンジブルな商品の生産・販売に関連する業種に関心がもたれたという相対的な変化であると推測できます。

業種の傾向として、概ね良好であるといえます。

	企業名	JSBI 得点	全体 順位
1	クボタ(Kubota)	107.00	6
2	積水化学工業(SEKISUI)	105.18	20
3	三菱重工業	103.23	48
4	旭化成(AsahiKASEI)	103.10	50
5	東レ(TORAY)	102.86	53
	平均値	101.67	
	最高値	107.00	6
	最低値	97.98	216
	業種内ギャップ (最高値-最低値)	9.01	
SDGs貢献イメージ得点		SDGs評価得点	
50.82		50.84	

※ <> : 得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

6. 家電・A V機器 (12社)

12社中9社のJSBI得点が100点を超えました。業種としてのJSBI得点平均値は101.4と全体の全体の第6位です。

業種内ギャップの値が6.19と低く、この業種のすべての企業が200位以上にランキングし、JSBIの高い業種といえます。

業種の傾向として、昨年度よりランキングが低くなっています。これは、新型コロナの影響による新しい生活に必要な耐久財が一通り揃った今年は、日常生活に必要な消費財の生産・販売に関連する業種に関心がもたれたという相対的な変化であると推測できます。

企業名	JSBI 得点	全体 順位
1 アイリスオーヤマ	104.74	22
2 日立製作所(HITACHI)	104.46	29
3 パナソニック(Panasonic)	103.78	39
4 ダイキン工業(DAIKIN)	103.67	44
5 ソニー(SONY)	101.69	102
平均値	101.41	
最高値	104.74	22
最低値	98.55	200
業種内ギャップ (最高値-最低値)	6.19	
SDGs貢献イメージ得点		SDGs評価得点
50.93		50.49

※ <> : 得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

7. 流通・小売業 (21社)

21社のうち11社がJSBI得点で100点以上を獲得し、業種のJSBI得点平均値は101.29点となりました。これは全業種の中で7番目の水準です。

全体順位トップテンに入る企業が3社もありますが、業種内ギャップの値は15.66と大きく、評価に大きなバラツキがあることがわかります。

GMS、スーパー、百貨店、コンビニ、外資系流通、e-commerce、商社、リサイクル販売が混在しています。百貨店、リサイクル販売は評価が芳しくありません。

全業種の傾向として、昨年度調査と比較して、消耗品を扱う業界に上昇傾向が見られます。

	企業名	JSBI 得点	全体 順位
1	良品計画(無印良品)	110.93	2
2	セブン&アイ・ホールディングス *イトーヨーカ堂他	107.16	5
3	イオン(AEON)	106.27	10
4	楽天グループ	105.46	17
5	生協(Co-op)	104.28	32
	平均値	101.29	
	最高値	110.93	2
	最低値	95.28	276
	業種内ギャップ (最高値-最低値)	15.66	

SDGs貢献イメージ得点

50.86

≡

SDGs評価得点

50.43

※ <<> : 得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

8. 不動産・建設・住宅設備 (19社)

19社のうち13社がJSBI得点で100点以上を獲得し、業種としてのJSBI得点平均値は100.69点、全業種の中で8番目です。業種内ギャップの値が12.50と高く、業種内に評価のバラツキがあることがわかります。

昨年と同様に、住宅設備業界は総じて高い評価を得た一方で、デベロッパーや不動産業界の評価は芳しくありませんでした。

SDGs評価得点の平均値は51.00点で全業種の中で3位であるのに対し、SDGs貢献イメージ得点の平均値は49.69点と全業種の中で13位でした。

企業名	JSBI 得点	全体 順位
1 住友林業	107.19	4
2 リクシル(LIXIL)	104.63	25
3 積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	103.66	45
4 TOTO	102.51	66
5 旭化成ホームズ(ヘーベルハウス)	102.14	83
平均値	100.69	
最高値	107.19	4
最低値	94.69	282
業種内ギャップ (最高値-最低値)	12.50	

SDGs貢献イメージ得点

49.69

<

SDGs評価得点

51.00

※ <> : 得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

9. ファッション・アクセサリー（17社）

17社中10社がJSBI得点で100点以上を獲得しました。
業種のJSBI得点平均値は100.48となり全業種の中では9位と中盤に位置しています。

昨年同様、企業規模が小さくとも独自のサステナビリティ活動を展開しているニッチな企業が上位にランクインしました。これらの企業は、SDGs評価得点よりもSDGs貢献イメージ得点が高いという傾向があります。自然と共生するライフスタイルを提案する企業が評価されています。サステナブル・マーケティングが功を奏していると言えるでしょう。

企業名	JSBI 得点	全体 順位
1 ファーストリテイリング *ユニクロ・GU他	105.69	15
2 モンベル(mont-bell)	104.56	27
3 パタゴニア(patagonia)	104.18	34
4 スノーピーク(snow peak)	102.46	71
5 ワコール(Wacoal)	101.73	98
平均値	100.48	
最高値	105.69	15
最低値	94.23	288
業種内ギャップ（最高値-最低値）	11.46	
SDGs貢献イメージ得点		SDGs評価得点
50.66		49.81

>

※ <> : v得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

10. 飲料・嗜好品（16社）

16社中7社においてJSBI得点が100点を超えるという結果でした。業種のJSBI得点平均値は100.27で全業種内10位とちょうど中盤に位置しています。

前回調査と同様に、たばこのような嗜好品を扱う企業は評価が芳しくありませんでした。

また、飲料を扱う企業の中では、アルコール飲料よりもソフトドリンクを想起させる企業の評価が相対的に上位になるという結果も昨年と同様に見られました。

企業名	JSBI 得点	全体 順位
1 味の素 A G F *ブレンディ他	105.95	13
2 サントリー(SUNTORY)	105.64	16
3 森永乳業(morinaga)	104.59	26
4 日本コカ・コーラ	102.50	67
5 ネスレ(Nestle)	102.21	80
平均値	100.27	
最高値	105.95	13
最低値	95.92	266
業種内ギャップ（最高値-最低値）	10.03	
SDGs貢献イメージ得点		SDGs評価得点
50.32		49.95

※ <> : v得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

11. 自動車・関連品（18社）

業種内ギャップの値が17.71と全業種中最も高く、評価にバラツキがあることが示されました。

今回もトヨタ自動車(JSBI)がトップとなりました。また、SDGs評価得点の55.26は極めて突出した値であり、同社が日本のSDGsを牽引していることを示しています。

この業種で下位となった企業は海外のラグジュアリーブランドに位置づけられる企業でした。また、これらの企業においては、SDGs貢献イメージ得点よりもSDGs評価得点の方が高いという傾向が見られました。

	企業名	JSBI 得点	全体 順位
1	トヨタ自動車(TOYOTA)	111.41	1
2	スズキ(SUZUKI)	103.92	38
3	テスラ(Tesla)	102.53	65
4	ヤマハ発動機 *輸送用機器	102.37	74
5	日産自動車(NISSAN)	101.93	88
	平均値	100.06	
	最高値	111.41	1
	最低値	93.70	291
	業種内ギャップ (最高値-最低値)	17.71	
SDGs貢献イメージ得点		SDGs評価得点	
50.20		49.85	

※ <> : v得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

12. IT・情報・通信 (16社)

16社のうちJSBI得点が100を超えたのは6社でした。業種のJSBI得点平均値は99.68と、全体の平均値（99.93）を少し下回り、全業種の中では12番目の水準となりました。

昨年と同様に業種内で評価にバラツキがありますが、相対的に評価が芳しくない業界が見受けられました。また、通信業界は総じて評価が芳しくありませんでした。

企業名	JSBI 得点	全体 順位
1 グーグル(google)	106.00	12
2 NTTデータ	103.67	43
3 日本マイクロソフト(Microsoft)	102.32	76
4 アマゾン ウェブ サービス ジャパン(AWS) *クラウド・サービス	102.23	79
5 東日本電信電話(NTT東日本)	101.38	109
平均値	99.68	
最高値	106.00	12
最低値	95.75	269
業種内ギャップ（最高値-最低値）	10.25	
SDGs貢献イメージ得点	SDGs評価得点	
49.68	49.99	

※ <> : v得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

13. 精密機器・事務用品 (18社)

18社中JSBI得点が100点を超えたのは8社で、業種としてのJSBI得点平均値は99.48点と全業種の平均値 (99.93) を下回りました。

この業種について特記すべきことは、対象である18社すべてにおいて、SDGs評価得点よりもSDGs貢献イメージ得点の方が高いという点です。このことから、消費者からSDGsの総合的なイメージは強く認められていることが推測できます。今後の課題として、SDGsの具体的実践を伝えていく工夫が重要になるでしょう。

企業名	JSBI 得点	全体 順位
1 アップルジャパン(Apple)	105.84	14
2 富士フイルム(FUJIFILM)	101.91	89
3 オムロン(OMRON)	101.90	91
4 N E C (日本電気)	101.76	95
5 コクヨ(KOKUYO)	100.75	130
平均値	99.48	
最高値	105.84	14
最低値	95.74	270
業種内ギャップ (最高値-最低値)	10.09	
SDGs貢献イメージ得点		SDGs評価得点
50.30		> 49.18

※ <> : v得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

14. 外食・各種サービス（12社）

12社中、JSBI得点が100点を超えたのは4社に留まりました。業種としてのJSBI得点平均値は99.48となり、全業種の平均値（99.93）を下回りました。

これは第16位に相当しますが、業種内トップの企業の得点群を抜いており、この突出した値を差し引いて考えると、評価が芳しくないと言えるでしょう。

スターバックスジャパンはSDGs評価得点が52.65点と全体19位であるのに対し、SDGs貢献イメージ得点は56.37と全企業トップです。サステナブル・マーケティングの成功例と言えるでしょう。

企業名	JSBI 得点	全体 順位
1 スターバックスジャパン(STARBUCKS)	109.02	3
2 ダスキン(DUSKIN) *衛生サービス	104.31	31
3 日本マクドナルド	101.69	101
4 モスフードサービス(モスバーガー)	101.02	121

平均値	99.48	
最高値	109.02	3
最低値	94.45	286
業種内ギャップ（最高値-最低値）	14.57	

SDGs貢献イメージ得点

49.75

÷

SDGs評価得点

49.72

※ <> : v得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ÷ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

15. 運輸・交通・レジャー (25)

25社のうち、JSBI得点が100点を超えたのは8社のみに留まりました。業種のJSBI得点平均値は98.30と全業種で15番目の水準です。

対象の企業が多いこともありますが、業種内ギャップの値が13.70と大きく、業種内で評価にバラツキがあることがわかります。

SDGs評価得点の業種平均値は49.23点、SDGs貢献イメージ得点の業種平均値は49.07で、この値はいずれも全体の15位に相当します。

企業名	JSBI 得点	全体 順位
1 オリエンタルランド(東京ディズニーリゾート)	103.31	47
2 西日本旅客鉄道(JR西日本)	103.16	49
3 星野リゾート	102.77	56
4 商船三井	102.59	63
5 東日本高速道路(NEXCO東日本)	102.49	68
平均値	98.30	
最高値	103.31	47
最低値	89.61	299
業種内ギャップ (最高値-最低値)	13.70	
SDGs貢献イメージ得点		SDGs評価得点
49.07		49.23

※ <> : 得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

16. 専門サービス（6社）

6社のうち1社を除くすべての企業においてJSBI得点が100未満となりました。この業種のJSBI得点の平均値は97.99点と大きく平均値（99.93）を下回り、業種全体として16番目の水準となりました。

対象企業が最も少ない6社であることもありますが、業種内ギャップの値は5.69と全業種の中で最も小さく、業種の中で評価にバラツキがないことがわかります。

総じて評価が芳しくないという結果となりました。

企業名	JSBI 得点	全体 順位
1 PwC Japanグループ	100.39	144
2 KPMG ジャパン	99.48	169
3 EY Japan	99.18	178
4 デロイト トーマツ グループ	98.59	199
平均値	97.99	
最高値	100.39	144
最低値	94.71	281
業種内ギャップ（最高値-最低値）	5.69	

SDGs貢献イメージ得点

48.74

<

SDGs評価得点

49.25

※ <> : 得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≒ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

17. 放送・エンターテインメント（12社）

12社のうちJSBI得点が100点を超えたのは3社に留まりました。業種のJSBI得点平均値は97.21点で全業種の中で17番目の水準です。業種内最高値は9位ですが、100位以内は1社のみで、次点が122位であることから、業種の傾向としては評価が芳しくないといえます。

この業種の下位8社の企業では、SDGs貢献イメージ得点よりSDGs評価得点が高いという結果となりました。これらの企業にとってはサステナブル・マーケティングやサステナブル・コミュニケーションが重要になります。

	企業名	JSBI 得点	全体 順位
1	ウォルト・ディズニー・ジャパン	106.31	9
2	ソニー・インタラクティブエンタテインメント (PlayStation)	100.94	122
3	任天堂	100.53	140
4	LEGO	98.01	214

平均値	97.21	
最高値	106.31	9
最低値	90.33	298
業種内ギャップ（最高値-最低値）	15.98	

SDGs貢献イメージ得点

48.21

<

SDGs評価得点

49.00

※ <> : v得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≒ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

18. 出版+教育、広告、印刷（7社）

この業種では、7社すべてがJSBI得点で100点未満で、全業種の中で18位に相当するものでした。

対象となる企業が7社と少ないこともありますが、業種内ギャップの値は7.25と小さく、業種内に評価のバラツキは見られませんでした。

7社のうち6社において、SDGs貢献イメージ得点よりもSDGs評価得点が高いという結果となりました。業種全体の課題として、サステナブル・マーケティングやサステナブル・コミュニケーションが重要になります。

企業名	JSBI 得点	全体 順位
1 ベネッセホールディングス(Benesse)	99.25	177
2 凸版印刷	99.12	181
3 学研ホールディングス(Gakken)	98.94	191
平均値	96.83	
最高値	99.25	177
最低値	91.99	295
業種内ギャップ（最高値-最低値）	7.25	
SDGs貢献イメージ得点		SDGs評価得点
47.93		48.90

※ <> : v得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果 V : 業種内ランキングとその傾向

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

19. 金融・保険 (21社)

昨年の調査と同様に、業種全体として評価が芳しくありませんでした。業種最高位は163位で、最高位の企業の得点が100点に届きませんでした。SDGs評価得点・SDGs貢献イメージ得点・JSBI得点の平均値は、19業種の中で最下位でした。

現時点では業種全体の傾向としてSDGsとの結びつきが認められていないように見えますが、今後の伸びしろに期待できます。

業種内の傾向として、クレジットカード業界が相対的に上位となりました。損害保険業界、生命保険業界の企業が続ぎ、金融業界は相対的に下位となりました。

	企業名	JSBI 得点	全体 順位
1	VISA(VISA Card)	99.75	163
2	損害保険ジャパン(SOMPO)	99.05	184
3	ジェーシービー(JCB Card)	98.36	201
4	東京海上日動	98.28	205
5	オリックス(ORIX)	97.03	242
	平均値	95.55	
	最高値	99.75	163
	最低値	88.33	300
	業種内ギャップ (最高値-最低値)	11.42	
SDGs貢献イメージ得点		SDGs評価得点	
47.63		47.92	

※ <> : v得点差1.5pt.以上 <> : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≡ : 得点差0.5pt.以下

調査結果VI : SDGs貢献イメージ得点と7つのカスタマー・エンゲージメント

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

	参加			評判			バーパス			社会性			ブランド		エコ			労働環境						
	働く	子就	株買	評判	応援	勤め	好意	共感	バーパス	社責	社必要	社貢献	選企	選ブ	持続	リサイ	環境	働き方	女性	障がい	シニア	LGBT	従業員	
薬品・医療用品	0.10	0.12	0.10	0.05	0.14	0.08	0.10	0.07	0.04	0.18	0.20	0.10	0.07	0.04	0.08	0.07	0.10	0.07	0.07	0.06	0.04	0.05	0.09	
エネルギー	0.06	0.07	0.07	0.04	0.09	0.05	0.06	0.06	0.04	0.15	0.19	0.11	0.05	0.04	0.10	0.07	0.10	0.06	0.04	0.06	0.05	0.04	0.07	
化粧品・トイレットリー	0.07	0.08	0.06	0.05	0.14	0.08	0.10	0.06	0.04	0.14	0.15	0.08	0.08	0.05	0.08	0.09	0.13	0.07	0.11	0.05	0.04	0.05	0.08	
食品	0.10	0.11	0.10	0.06	0.23	0.12	0.17	0.08	0.03	0.18	0.23	0.11	0.11	0.06	0.10	0.10	0.14	0.06	0.07	0.06	0.04	0.04	0.10	
素材・化学・機械	0.08	0.10	0.08	0.04	0.09	0.06	0.08	0.06	0.04	0.16	0.18	0.11	0.05	0.04	0.09	0.08	0.12	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	0.07	
家電・A V 機器	0.10	0.12	0.10	0.07	0.19	0.12	0.15	0.10	0.04	0.18	0.22	0.10	0.11	0.07	0.10	0.10	0.14	0.07	0.06	0.06	0.05	0.05	0.09	
流通・小売業	0.08	0.08	0.10	0.06	0.16	0.10	0.13	0.07	0.04	0.15	0.19	0.11	0.10	0.06	0.10	0.11	0.11	0.07	0.08	0.06	0.06	0.04	0.08	
不動産・建設・住宅設備	0.07	0.09	0.07	0.03	0.08	0.05	0.07	0.06	0.03	0.15	0.16	0.11	0.05	0.03	0.10	0.06	0.09	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	0.07	
ファッション・アクセサリー	0.08	0.08	0.09	0.06	0.14	0.09	0.12	0.07	0.04	0.12	0.11	0.09	0.08	0.06	0.08	0.09	0.11	0.07	0.10	0.05	0.04	0.06	0.08	
飲料・嗜好品	0.09	0.09	0.08	0.05	0.17	0.09	0.12	0.07	0.03	0.15	0.15	0.10	0.08	0.05	0.09	0.11	0.11	0.06	0.05	0.06	0.04	0.04	0.08	
自動車・関連品	0.09	0.10	0.09	0.05	0.12	0.08	0.11	0.08	0.04	0.18	0.19	0.12	0.06	0.05	0.10	0.09	0.12	0.08	0.05	0.06	0.05	0.04	0.09	
IT・情報・通信	0.10	0.11	0.12	0.05	0.11	0.08	0.10	0.07	0.05	0.16	0.22	0.11	0.07	0.05	0.10	0.06	0.07	0.08	0.08	0.07	0.04	0.06	0.09	
精密機器・事務用品	0.08	0.10	0.08	0.05	0.12	0.07	0.09	0.06	0.03	0.15	0.16	0.09	0.07	0.05	0.08	0.08	0.09	0.07	0.05	0.05	0.04	0.04	0.08	
外食・各種サービス	0.04	0.04	0.08	0.06	0.19	0.10	0.14	0.07	0.03	0.13	0.15	0.11	0.09	0.05	0.09	0.10	0.12	0.07	0.09	0.05	0.06	0.05	0.09	
運輸・交通・レジャー	0.08	0.08	0.08	0.05	0.12	0.08	0.10	0.07	0.04	0.18	0.23	0.12	0.06	0.05	0.08	0.05	0.06	0.08	0.08	0.06	0.06	0.05	0.09	
専門サービス	0.05	0.06	0.06	0.05	0.06	0.05	0.06	0.05	0.05	0.09	0.07	0.07	0.05	0.05	0.06	0.04	0.06	0.08	0.08	0.07	0.06	0.07	0.08	
放送・エンターテインメント	0.09	0.09	0.09	0.05	0.12	0.08	0.13	0.06	0.03	0.14	0.17	0.10	0.06	0.05	0.07	0.05	0.05	0.06	0.08	0.05	0.04	0.06	0.08	
出版＋教育、広告、印刷	0.07	0.07	0.06	0.04	0.07	0.05	0.06	0.05	0.02	0.13	0.13	0.10	0.04	0.03	0.07	0.05	0.07	0.07	0.06	0.06	0.04	0.04	0.07	
金融・保険	0.06	0.07	0.07	0.04	0.08	0.05	0.06	0.05	0.04	0.15	0.17	0.10	0.05	0.04	0.07	0.04	0.05	0.07	0.08	0.06	0.05	0.05	0.07	
AVE	0.08	0.09	0.08	0.05	0.13	0.08	0.10	0.07	0.04	0.15	0.17	0.10	0.07	0.05	0.09	0.08	0.10	0.07	0.07	0.06	0.05	0.05	0.08	

まとめ

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

消費者は、SDGsの17目標において、インフラやイノベーション、レジリエントな都市、経済成長と雇用などの経済軸を重視し、認知度の高い人ほど顕著となりました。また、平和や健康も重視されています（調査結果Ⅰ）。

SDGsの企業評価は、健康とインフラやイノベーションが高く評価されています。一方、調査結果Ⅰで消費者がレジリエントな都市や平和が求められているのにも拘らず、この目標で評価を得ている業種はほとんど無いと言えます（調査結果Ⅱ）。

JSBIのランキングについては、一般的に広く認知された企業だけではなく、サステナビリティの評価の高い企業がランキングされていることが特徴です（調査結果Ⅲ）。

「SDGs貢献イメージ得点」>「SDGs評価得点」の企業は、サステナブル・マーケティングやプロモーションが必要です。

「SDGs評価得点」>「SDGs貢献イメージ得点」の企業は、SDGsの具体的実践を伝えていく工夫が重要です（調査結果Ⅳ）

業種別の傾向として「素材・化学・機械」「家電・A V 機器」が高水準ながらも昨年より評価をやや下げた一方、「薬品・医療用品」、「化粧品・トイレタリー」「ファッション・アクセサリー」や「流通・小売業」の評価が高くなり、生活接点に近い業種が高く評価された傾向にあります。

一方、「金融・保険」「出版＋教育、広告、印刷」のサービス系が低くなっています（調査結果Ⅴ）。

カスタマー・エンゲージメントとして、社会に必要で社会的責任を果たしており、さらに応援したいと多くの産業が評価されています。しかし、エコロジーについては評価が全体的に低く、選択したいブランドにもなっておらず、今後の課題となります（調査結果Ⅵ）。

今後の課題と提言

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

今回は、調査企業数を300社に限定しました。また、各企業のSDGs活動やカスタマーエンゲージメントに対して、現状では消費者からの回答数が必ずしも多く得られたとは言えませんでした。SDGsの認知度は84.2%と過去最高の数値となりました。SDGsも量から質、企業にとって適切なSDGs17目標へ投資を検討する時代になってくるでしょう。

今後はさらに消費者の関心が高くなると考えられ、企業もJSBIなどを参考に、パーパスの理解を深め、さらにサステナビリティに重みをおいたマーケティングやコミュニケーションを展開して行くこととなるかと思います。こうした相互の関係が深まることで、サステナブルな社会が創造され、さらに言えば資本主義とコモンズ（共有資源）やコミュニティの新たな関係が生まれてくることを期待しております。

今後も、調査対象社数を検討し、さらに調査手法を精査しながら、経年的に調査を続けることで、JSBIを皆様のサステナブル活動にとって有用な指標にして参ります。

皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

個々の企業における結果については、

お問い合わせ先：

サステナブル ブランド ジャパン (info@sustainablebrands.jp)

調査対象企業一覧（五十音順 / 300社）

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

アイリスオーヤマ	江崎グリコ	かんぽ生命保険	JTB	ソニー (SONY)
アウディ	S A P ジャパン	キーコーヒー	ジェーシービー (JCB Card)	ソニー・インタラクティブエンタテインメント (PlayStation)
旭化成 (AsahiKASEI)	エスデー	キッコーマン	JERA	ソフトバンク (SoftBank)
旭化成ホームズ (ヘーベルハウス)	N E C (日本電気)	キヤノン (canon)	資生堂 (SHISEIDO)	損害保険ジャパン (SOMPO)
アサヒビール (Asahi)	NECネットエスアイ	キュービー	シチズン時計 (CITIZEN)	第一生命
味の素 (AJINOMOTO)	N T T データ	QVC	清水建設	タイガー魔法瓶
味の素 A G F * プレンティ他	N T T ドコモ (docomo)	京セラ (KYOCERA)	シャープ (SHARP)	ダイキン工業 (DAIKIN)
アシックス (ASICS)	ENEOS	麒麟ビール (KIRIN)	商船三井	大成建設
アスクル (ASKUL)	MHD モエ ヘネシー ディアジオ * モエ・エ・シャンドン他	近畿日本ツーリスト	ジョンソン・エンド・ジョンソン	ダイソー
アストラゼネカ	LVMHグループ * ルイヴィトン他	グーグル (google)	すかいらく * ガスト他	ダイソン (dyson)
UPDATER (みんな電力)	王子ネピア * ネピア他	クボタ (Kubota)	スズキ (SUZUKI)	大日本印刷
アップルジャパン (Apple)	王子ホールディングス	グンゼ (GUNZE)	スターバックスジャパン (STARBUCKS)	ダイハツ工業 (Daihatsu)
アディダスジャパン (adidas)	大阪ガス	KDDI (au)	ステラマカートニー	大和証券
アフラック生命 (Aflac)	大塚製薬 (Otsuka)	KPMG ジャパン	スノーピーク (snow peak)	大和ハウス工業 (Daiwa House)
アマゾン ウェブ サービス ジャパン (AWS) * クラウド・サービス	大林組	ケリング・グループ * グッチ他	スバル (SUBARU)	武田薬品工業
アマゾンジャパン (amazon)	オカムラ * オフィス機器・家具他	コーセー (KOSE)	住友化学	竹中工務店
EY Japan	小田急電鉄 (odakyu)	ゴールドウイン * ザ・ノース・フェイス他	住友ゴム工業 * ダンロップ	ダスキン (DUSKIN) * 衛生サービス
イオン (AEON)	オムロン (OMRON)	コクヨ (KOKUYO)	住友生命保険	中外製薬
イケア (IKEA)	オリエンタルランド (東京ディズニーリゾート)	コスモ石油	住友林業	ディー・エヌ・エー (DeNA)
出光昭和シェル	オリックス (ORIX)	コニカミノルタ	生協 (Co-op)	TBSテレビ
伊藤園 (ITOEN)	オリパス	小林製薬	セイコー (SEIKO)	帝国ホテル
伊藤忠商事	貝印	小松製作所 (KOMATSU)	セイコーエプソン (EPSON)	帝人 (TEIJIN)
伊藤ハム	花王 (Kao)	コメダ珈琲所 コメダ珈琲店	セールスフォース・ドットコム (salesforce)	テスラ (Tesla)
イトーキ * オフィス機器・家具他	カゴメ (KAGOME)	サイゼリア	積水化学工業 (SEKISUI)	テリモ
岩谷産業 (Iwatani)	カシオ計算機 (CASIO)	佐川急便 (SAGAWA)	積水ハウス (SEKISUI HOUSE)	テレビ朝日
ウォルト・ディズニー・ジャパン	鹿島	サッポロビール (SAPPORO)	セブン & アイ・ホールディングス * イートーカ堂他	デロイト トーマツ グループ
内田洋行 * オフィス機器・家具他	学研ホールディングス (Gakken)	サラヤ	セブン・イレブン・ジャパン (7-Eleven)	デンソー
エイチ・アイ・エス (HIS)	カネカ (kaneka)	サンスター	ゼンショーホールディングス * すき家・なか卯他	電通
H&M	カルビー (calbee)	サントリー (SUNTORY)	全日本空輸 (ANA)	東海旅客鉄道 (JR東海)
エーザイ (Eisai)	関西電力	三和酒類 * いいちご他	象印マホービン	東急電鉄 (TOKYU)

調査対象企業一覧（五十音順 / 300社）

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

東京海上日動	日本たばこ産業(JT)	東日本電信電話(NTT東日本)	三井物産	U R 都市機構 *UR賃貸住宅
東京ガス(TOKYO GAS)	日本中央競馬会(JRA)	東日本旅客鉄道(JR東日本)	三井不動産	ユー・エス・ジェイ (ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)
東京地下鉄(東京メトロ)	日本通運	VISA(VISA Card)	ミツカン(mizkan)	UCC上島珈琲
東京電力(TEPCO)	日本ハム	日立製作所(HITACHI)	三越伊勢丹ホールディングス	ゆうちょ銀行
東芝(TOSHIBA)	日本放送協会(NHK)	ファーストリテイリング *ユニクロ・GU他	三菱ケミカルホールディングス	雪印メグミルク
東洋水産 *マルちゃん他	日本マイクロソフト(Microsoft)	ファミリーマート(FamilyMart)	三菱地所	ユニ・チャーム(unicharm)
東レ(TORAY)	日本マクドナルド	ファンケル(FANCL)	三菱重工業	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)
TOTO	日本郵政(日本郵政グループ)	フィリップモリス(Philip Morris)	三菱商事	横河電機 *工業計器他
凸版印刷	日本郵船	富士通(FUJITSU)	三菱電機(MITSUBISHI ELECTRIC)	横浜ゴム(YOKOHAMA)
トールコーピー	日本郵便	フジテレビジョン	三菱ふそうトラック・バス	吉野家
トヨタ自動車(TOYOTA)	日本旅行	フジパンググループ本社	三菱UFJ銀行(MUFG)	吉本興業
トリートホールディングス *丸亀製麺他	日本ロレアル(LOREAL)	富士フィルム(FUJIFILM)	三菱UFJ信託銀行	ライオン(LION)
トリプ・インターナショナル(Triumph)	任天堂	ブックオフコーポレーション	村田製作所(muRata)	ライフフル(LIFULL)
ナイキ(NIKE)	ネスレ(Nestle)	ブラザー工業 *ミシン・プリンター他	明治(meiji)	LINE
ニコン(Nikon)	Netflix	ブリヂストン(BRIDGESTONE)	明治安田生命保険	楽天グループ
西日本旅客鉄道(JR西日本)	ノボリスディスクファーマ	プリンスホテル	Meta(Facebook)	ラッシュジャパン(LUSH)
ニチレイ	野村證券	ベネッセホールディングス(Benesse)	メルカリ(mercari)	リクシル(LIXIL)
日揮ホールディングス	野村不動産	ポーラ(POLA)	メルセデス・ベンツ	リクルートホールディングス
日産自動車(NISSAN)	バーソル *テンプスタッフ 他	星野リゾート	モスフードサービス(モスバーガー)	リコー(RICOH)
日清食品(NISSIN)	ハウス食品(House)	堀場製作所 *計測機器	森永製菓(MORINAGA)	良品計画(無印良品)
日清紡ホールディングス(NISSHINBO)	博報堂	ボルボ(VOLVO)	森永乳業(morinaga)	リンナイ(Rinnai)
ニトリ	パナソニック	ホンダ(HONDA)	森ビル(MORI)	Loop(Loopでんき)
日本アイ・ビー・エム(I B M)	パタゴニア(patagonia)	マツダ(MAZDA)	モンベル(mont-bell)	LEGO
日本航空(JAL)	パナソニック(Panasonic)	丸井グループ	ヤクルト本社(Yakult)	ローソン(LAWSON)
日本コカ・コーラ	バンダイナムコエンターテインメント	マルハニチロ	ヤフー(YAHOO!)	ロート製薬(ROHTO)
日本水産(ニッスイ)	P & G (プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	ミズノ(mizuno)	山崎製パン	ワークマン(WORKMAN)
日本製紙	BASF	みずほ銀行(MIZUHO)	ヤマト運輸	YKK *ファスナー 他
日本製紙クレシア *クリネックス・スコッティ他	B MW	三井住友海上(MS&AD)	ヤマハ(YAMAHA) *楽器	YKK AP *アルミサッシ・窓 他
日本製鉄	PwC Japanグループ	三井住友銀行(SMBC)	ヤマハ発動機 *輸送用機器	ワコール(Wacoal)
日本生命保険(NISSAY)	東日本高速道路(NEXCO東日本)	三井住友信託銀行	ヤンマー(YANMAR)	ワタミグループ *和民・ワタミの宅食他

RESEARCH PROJECT TEAMS

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

調査実施者	: サステナブル・ブランド ジャパン（株式会社博展）
監修	: 青木茂樹（駒澤大学経営学部教授・サステナブル・ブランド国際会議 アカデミックプロデューサー）
調査設計	: 江戸克栄（県立広島大学大学院教授）
調査設計補佐	: 落原大治（法政大学大学院院生）
CSRアドバイザー	: 小山巖也（関東学院大学学長）
報告書作成	: 矢崎陽子（山梨学院大学非常勤講師）